

# 平成28年度財政公表

今月号では、鏡石町財政状況の作成及び公表に関する条例の規定により、平成28年度上半期の予算状況及び9月定例議会で認定された平成27年度決算の内容について一般会計を中心にお知らせします。

## 【財政用語の解説】

- 【一般会計】**  
町の中心となる会計で、行政を運営するための基本的な経費を計上した会計のことです。
- 【地方債（町債）】**  
事業を行うために国や銀行から町が借り入れるお金のことです。
- 【繰入金】**  
各種基金の取り崩しや特別会計などから繰り入れるお金のことです。
- 【普通建設費】**  
道路、学校などの建設・整備に使われるお金のことです。
- 【扶助費】**  
社会保障制度の一環として、子どもや高齢者などに対して使われるお金のことです。

## 鏡石町の財政健全化判断比率の公表

指標	健全化判断比率	早期健全化比率
①実質赤字比率	-	15.0%
②連結実質赤字比率	-	20.0%
③実質公債費比率	12.2%	25.0%
④将来負担比率	27.2%	350.0%

※平成27年度決算に基づく数値

## 【健全化判断比率】

- ①**実質赤字比率**  
一般会計などの実質収支は黒字であり、実質赤字比率は該当ありませんでした。
- ②**連結実質赤字比率**  
一般会計などの実質赤字、公営企業会計の資金不足は発生しておらず、該当ありませんでした。
- ③**実質公債費比率**  
標準財政規模に対する一般会計などが負担する元利償還金などの割合は、12.2%で前年度に比べ1.7%減少しました。
- ④**将来負担比率**  
標準財政規模に対する一般会計などが将来負担すべき実質効的な負債の割合は、27.2%と前年度に比べ2.2%減少しました。

## 各会計町債残高の状況（町の借金残高）

会計区分	町債残高
一般会計	49億8,607万円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1億8,172万円
公共下水道事業特別会計	34億6,859万円
農業集落排水事業特別会計	4億2,141万円
上水道事業会計	14億8,259万円
合計	105億4,038万円

平成27年度末現在

## 平成27年度各会計決算状況

会計区分	歳入	歳出
一般会計	59億5,029万円	58億4,294万円
国民健康保険特別会計	17億4,132万円	16億3,298万円
後期高齢者医療特別会計	1億82万円	9,899万円
介護保険特別会計	8億8,138万円	8億7,766万円
土地取得事業特別会計	1億9,969万円	1億9,964万円
工業団地事業特別会計	4億148万円	4億105万円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1億6,408万円	1億6,110万円
育英資金貸付費特別会計	741万円	740万円
公共下水道事業特別会計	5億187万円	4億9,576万円
農業集落排水事業特別会計	6,414万円	6,346万円
小計	100億1,248万円	97億8,098万円
上水道事業会計	収益的 2億4,741万円 資本的 1億8,634万円 計 4億3,375万円	2億1,500万円 3億234万円 5億1,734万円
合計	104億4,623万円	102億9,832万円

※上水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんした。

## 基金積立金現在高の状況（町の貯金残高）

基金区分	現在高
財政調整基金	7億1,023万円
減債基金	1億79万円
役場庁舎新築事業基金	7億8,959万円
東日本大震災復興交付金基金	4,146万円
その他	9億411万円
合計	25億4,618万円

平成28年5月31日現在

## 平成28年度各会計現計予算状況

会計区分	予算現計
一般会計	59億5,867万円
国民健康保険特別会計	16億9,437万円
後期高齢者医療特別会計	9,824万円
介護保険特別会計	8億2,741万円
土地取得事業特別会計	3,002万円
工業団地事業特別会計	4,743万円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1億9,112万円
育英資金貸付費特別会計	843万円
公共下水道事業特別会計	4億8,737万円
農業集落排水事業特別会計	6,948万円
小計	94億1,254万円
上水道事業会計	収益的 2億4,354万円 資本的 5億8,700万円 計 8億3,054万円
合計	102億4,308万円

### 平成28年度上半期予算状況

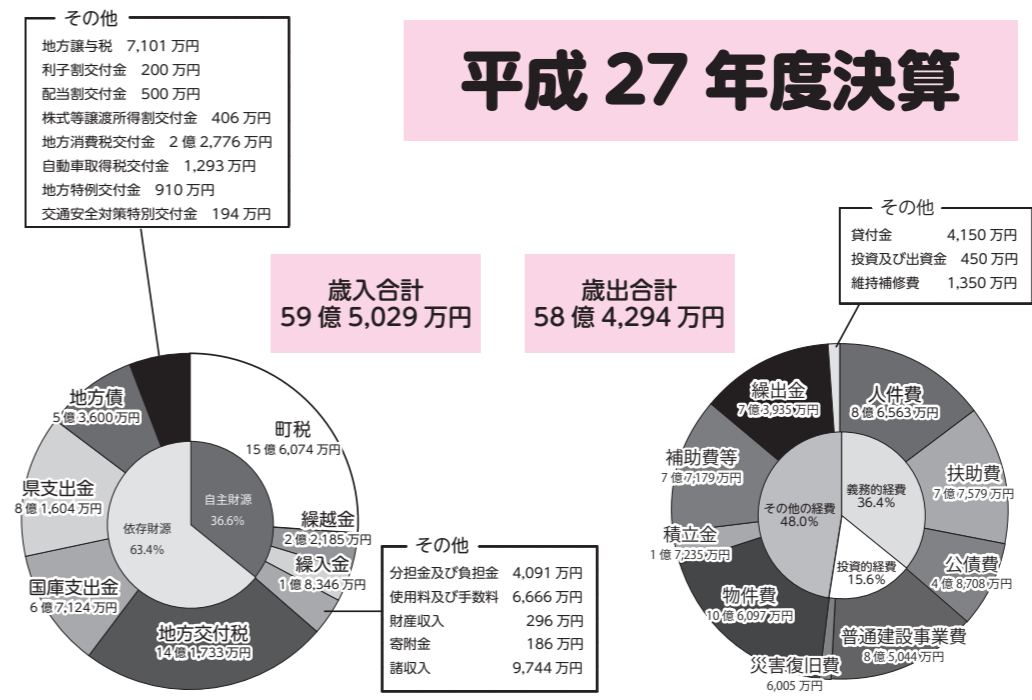
平成28年度は東日本大震災からの復旧事業が完了し、復興事業と平常事業へシフトしてきていますが、引き続き大規模な予算となっています。歳出の主な内容は、震災以降依然として続いている原子力災害対策事業（一般住宅等除染対策事業等）3億2,024万円があり、その他に、防災関係事業（防災行政無線（固定系）設備更新等）として5,043万円、進化する



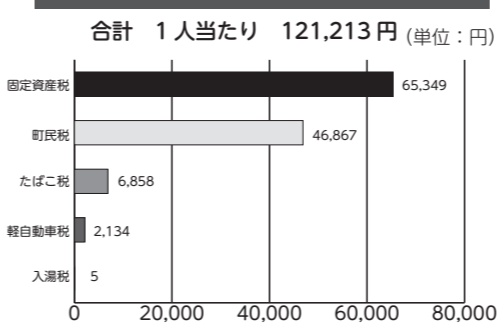
住宅除染の様子

鏡石実行プロジェクト（駅東口整備事業・田んぼアート事業等）として2,163万円を計上しています。

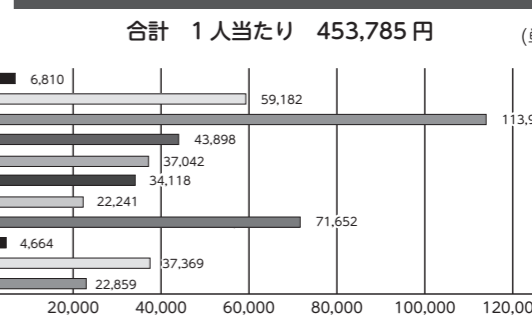
## 平成27年度決算



## 町民1人当たりの納めたお金



## 町民1人当たりに使われたお金



## 震災以降引き続き大規模な決算

平成27年度一般会計決算は、59億5,029万円となり、震災復旧・復興事業が概ね完了してきたことから、昨年度決算額と比べて11億4,275万円と大きく減少したものの依然として震災前を上回る大規模な決算となりました。歳入の主な内容は、町民の皆さんから納めていただいた町税15億6,074万円、国から交付された地方交付税14億1,733万円、県庫支出金8億1,604万円などです。

一方、歳出の主な内容は、中学校耐震補強・大規模改修事業2億9,200万円、除染対策関連事業2億8,657万円などです。また、公債費については、昨年度と比べ4,769万円（繰上償還額を除く）減少し、年々減少傾向にあるものの中学校の耐震補強・大規模改修に係る借入により町債残高は、1億4,077万円増加し、今後の借入等、引き続き計画的な財政運営を迫られています。